

# 富岡町里山再生モデル事業の概要

## モデル事業の目的

- 住民の帰還に向けた環境づくり
- 事業成果について原子力災害を受けた里山の再生に寄与

## モデル地区概要

- モデル地区：グリーンフィールド富岡周辺（富岡町小浜、大字本岡地内）
- 区域面積：約108haうち森林約72ha（民有林（町有林約22ha、私有林約49ha）

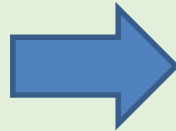
## 事業の内容

### 除染（H29～30年度）

- グリーンフィールド内の3.4haと周辺遊歩道（延長約6km）両側概ね5mについて表土削り取りを行い、遊歩道平坦部には覆土を施しました。



除染実施前



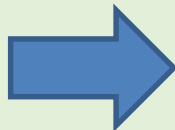
除染実施後

### 森林整備（H29～R1年度）

- スギ・ヒノキ人工林の間伐（間伐率24%、7.73ha）、アカマツ・コナラ天然林の更新伐※（伐採率23%、1.26ha）等を実施しました。適切な立木密度となるよう、健全な生育が見込めない形質不良木や、散策等の歩道利用者に配慮し、危険木等を中心に伐採しました。伐採木は一定の長さに切り揃え、森林内に分散残置しました。



実施前



実施後

※更新伐：育成複層林の造成・育成、天然林の質的・構造的な改善のための適正な更新を目的とした伐採

### 線量測定（H29～R1年度）

- H29からR1にかけてモデル地区内の空間線量率を毎年測定しました。（メッシュ測定：59（メッシュ数）、遊歩道等の歩行サーベイ：約9,502m 等）
- 空間線量率の測定にあわせて個人被ばく線量を測定しました。

## ＜モデル地区の概況図＞



# 富岡町モデル事業の結果

## 除染の結果

○空間線量率（高さ1 m）の平均値（単位：μSv/h）

|                       | 除染前                | 除染後                 | 低減率<br>(物理学的減衰率)   |
|-----------------------|--------------------|---------------------|--------------------|
|                       | H29年10月<br>～H30年9月 | H29年10月<br>～H30年10月 |                    |
| 81箇所平均<br>(グリーンフィールド) | 1.42※              | 0.56 ※※             | 61%<br>(5.6%)      |
| 234箇所平均<br>(遊歩道中央部)   | 1.04               | 0.66                | 36%<br>(0.0%～3.3%) |
| 586箇所平均<br>(遊歩道両側)    | 1.31               | 0.96                | 27%<br>(0.0%～3.3%) |

※H29年3月に測定

※※H29年9月に測定



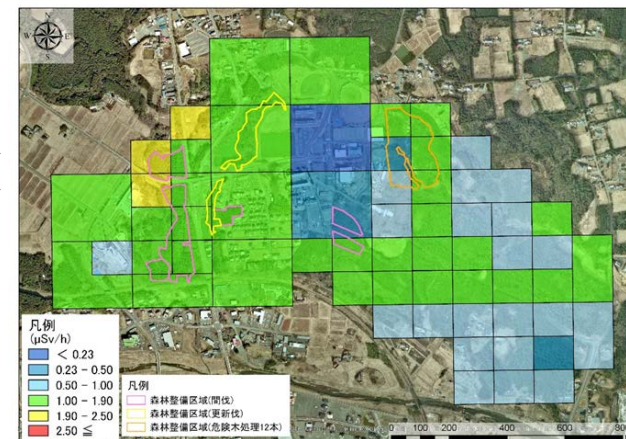
## 森林整備の結果

- 間伐等の森林整備により、下層植生の成長が促進され、表土の流出が抑制された。また、根による土壌の保持力が向上し、水源涵養機能、山地災害防止機能等の公益的機能の発揮も期待されます。
- 林内の倒木や景観を損なう樹木を伐採・整理することによって、安全・安心・快適に散策できる森林空間に変化し、散策やランニングコースとして利用する姿も見られるようになりました。
- 今回の森林整備によって延べ524人日の雇用が生まれ、林業活動の継続が図られました（H29年度192人日、H30年度177人日、R1年度155人日）。

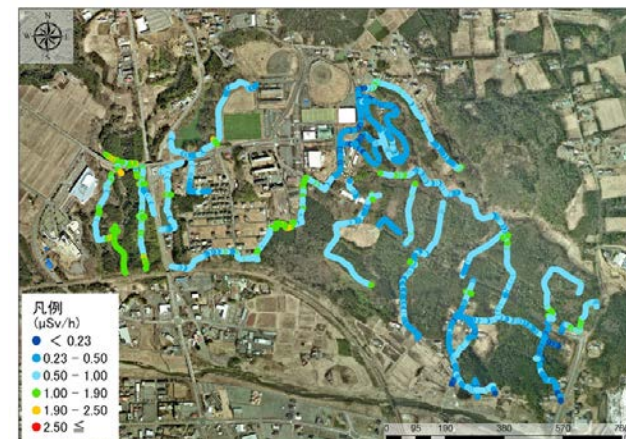
## 線量測定の結果

※空間線量率は実測値を基にR1年8月1日を基準日として算出

【メッシュ測定】  
地区平均(地上1m)は  
1.15 μSv/h、最大値は  
2.26 μSv/h、最小値は  
0.18 μSv/hであった。



【歩行サーベイ】  
平均は0.67 μSv/h、  
最大値は2.52 μSv/h、  
最小値は0.10 μSv/h  
でした。



## 【個人被ばく線量】

町役場へのヒアリングを行い、想定される利用形態（滞在時間83分）を設定し、個人被ばく線量を測定しました。その結果、1回の利用に伴う個人被ばく線量は、0.0006mSv (0.6μSv) でした。

※胸部X線検査1回あたりの被ばく線量は0.06mSv (60μSv)

## モデル事業の効果

- 除染によって線量が低くなったことなどにより、住民の帰還に向けた環境づくりに寄与したと考えられます。
- 除染と森林整備を一体的に実施することにより、快適な森林空間を創出し里山の再生に寄与したと考えられます。